

「恐竜の卵をつくろう」

★ どんな実験かな？

アルミの袋の中のビー玉は、丸いので転がります。そのうごきで、外側にあるアルミ卵がおされて、不思議な動きをするのです。

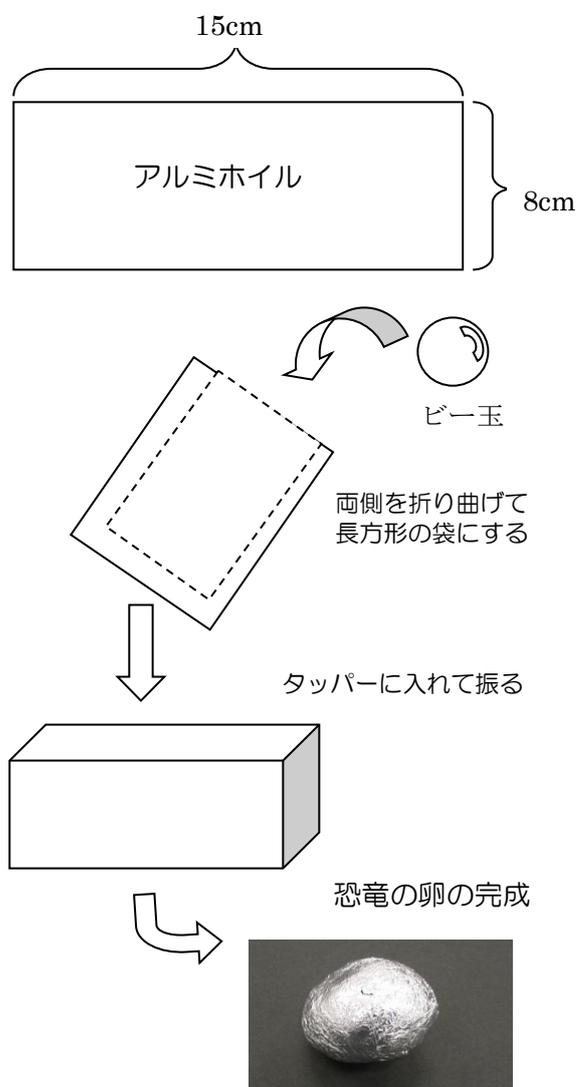
作った卵を容器に入れて、そっと持つと、卵の中に、生き物がいるのかなとおもうぐらい、動きます。

★ 用意するもの

- ① アルミホイル 8×15cm 1枚
- ② ビー玉 1個
- ③ タッパー容器 1個
- ④ 油性マジック
- ⑤ 保管容器（ミニトマト容器）
- ⑥ はさみ

★ 実験の方法

- 1, アルミホイルを8×15cmくらいに切ります。
- 2, アルミホイルの片面に油性マジックで自由に模様を描く。
- 3, 模様を外側にしてアルミホイルを半分に折り、さらに両側を5mmくらい2回ずつ折って袋状にする。
- 4, 袋にビー玉を入れ、口を折って閉じる。
- 5, タッパー容器に入れて、丸くなるまで振る。
- 6, 卵のような形になっていますか？
- 7, 取り出すときはつぶさないように、そっと手のひらに受ける。
- 8, あら、不思議、なにやら卵の中に生き物がいるような動きがしますね。
- 9, この卵を「ミニトマト容器」にうつして、そっと、あつかってくださいね。



★ 注意すること

- ① 卵は、壊れやすいので、容器に入れて保管しましょう。
- ② 作成するとき、はげしく容器を振りすぎないように。